学校番号	3001

令和２年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	野菜	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「野菜」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習を中心に野菜の生産、販売、流通などについて学習します。一年を通じて、多種多様な野菜を生産するため、栽培管理が主な実習作業になります。暑さ、寒さ、時には雨が、と言ったように、計画通りに進まないこともあります。思うままにならない自然を相手にたくさんのことを学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

野菜の栽培管理に関して、基本的な知識、技能を身につける。また、流通や販売に関する体験を積み重ねることにより、コミュニケーション能力などを養うとともに、野菜の普及に努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	まず、野菜を食べることに関心を持つ。野菜の種類、栽培管理について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	野菜に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、野菜栽培、販売に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、野菜栽培、販売に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜栽培、販売の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況、実習態度の観察 ノートや記録簿の記述 課題など 販売実習の態度	学習状況、実習態度の観察 ノートや記録簿の記述 課題など 販売実習の態度 ポスター作成	学習状況、実習態度の観察 ノートや記録簿の記述 学期に一度、栽培技術の習得状況について確認	学習状況、実習態度の観察 ノートや記録簿の記述 学年度末にペーパーテストによる知識・理解の確認
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	野菜の生育と生理、果菜類の栽培	（座）野菜の生育と生理 （実）果菜類の栽培管理についての知識と技術	○	○	○	○ ○	a:野菜（果菜類）の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:野菜（果菜類）の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 野菜（果菜類）の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜（果菜類）の栽培について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 野菜の生育と生理について、基礎的・基本的な知識を身につけている。	ノート レポート 授業観察
2学期	栽培環境、葉根菜類の栽培	（座）栽培環境 （実）葉根菜類の栽培管理についての知識と技術、販売実習	○	○	○	○ ○	a: 野菜（葉根菜類）の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 野菜（葉根菜類）の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 野菜（葉根菜類）の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜（葉根菜類）の栽培について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 野菜の栽培環境について、基礎的・基本的な知識を身につけている。	ノート レポート 授業観察

3学期	野菜の流通と鮮度保持、土づくり	（座）野菜の流通と鮮度保持 （実）育苗用土と本畑の土作り	○	○	○	○ ○	a: 野菜栽培の土壌について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 野菜栽培の土壌について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 野菜栽培の土壌について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 野菜栽培の土壌について、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 野菜の流通と鮮度保持て、基礎的・基本的な知識を身につけている。	ノート レポート 授業観察 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。